



## 2. 緑の将来像

### (1) 足利市の緑の将来像

本市の目指す将来の都市の姿は、『歴史から未来へ ときめきの都市・足利』として第5次足利市振興計画に定められています。

本計画においては、「次代への『みどりの贈りもの』づくり」を計画テーマとして、この将来像の実現に緑の保全と緑化の推進の側面から取り組んでいくこととします。

なお、これらの取り組みによって実現を目指す緑の将来像を、次のように設定します。

#### 【緑の将来像】

##### ○多くの人に親しまれる自然と共生するまち、歴史・文化が薫るまち

豊かな緑、清らかな水などの自然環境と人々の暮らしが調和し、心の拠り所である歴史とその上で彩られた文化が大切に受け継がれたまちを目指します。

##### ○安全・快適な市民生活が確保された、健やかな暮らしのあるまち

身近に利用することができる公園、容易に緑とふれあうことのできる空間が確保され、緑の効果が、健やかな暮らしや心の豊かさの演出に最大限に活かされたまちを目指します。

##### ○新たな緑の文化をみんなでつむぐまち

豊かな自然、薫り高い歴史など先人が築きあげた財産を「縦糸」に、市民・事業者・行政の協働による積極的な取組を「横糸」とした『足利市の新たな文化』を紡ぐまちを目指します。

## (2) 緑の将来像が実現された足利市のすがた

緑の将来像として設定した『多くの人に親しまれる自然と共生するまち、歴史・文化が薫るまち』、『安全・快適な市民生活が確保された、健やかな暮らしのあるまち』、『新たな緑の文化をみんなでつむぐまち』の実現によって、具体化される本市の将来のすがたを次のようにイメージします。

### ◇『多くの人に親しまれる自然と共生するまち、歴史・文化が薫るまち』が実現された足利市の将来のすがた

- <sup>ほんな</sup>鑱阿寺などの歴史文化遺産と一体となった緑は、まちなかにも自然の息吹や四季の変化を感じることができる貴重な自然環境であり、歴史文化を演出する要素として維持されています。また、各所に点在する多くの社寺は、鎮守の森として地域の人々に親しまれています。
- 北部の山林の緑は、市街地からの緑豊かな遠景要素として維持され、そこでは週末を中心に市内外の人々が自然散策や森林浴、バーベキューやキャンプなどによって気分を一新したり、野鳥観察や虫取りを通じた自然学習体験を楽しんでいます。
- 渡良瀬川は、魚影がみられるぐらいに澄んでいて、水辺では野鳥が羽を休めている姿をみることができます。河川敷では野球やサッカーが盛んに行われていますが、応援に来た子どもたちは、試合そっちのけでカエルやバッタを追いかけ回しています。
- 松田川などの中小河川は、治水上の安全性と同時に生物が生息できる空間が確保され、トンボやホタルが飛び交う環境が維持されています。また、子どもたちが魚釣りを楽しむ姿がみられるなど、水と容易にふれあうこともできる空間が整備されています。
- 南部の広大な農地は、首都圏を中心とした消費者に喜ばれる鮮度が高く、味の良い作物が安定的に供給される生産地となっています。また、市民に開放された農園があり、土にふれあう喜びに満ちた人々の交流もどんどん広がっています。
- 市内の主だった場所へは、水辺の散策路や緑道、サイクリングロードを利用して自転車や徒歩で移動できるため、近頃はマイカーの利用が減ったという声をよく耳にします。

### ◇『安全・快適な市民生活が確保された、健やかな暮らしのあるまち』が実現された足利市の将来のすがた

- まちなかには、子どもから高齢者まですべての年代の人が気軽に利用できる公園があちこちにあり、身近に自然とふれあうことのできる場が整っています。これらの公園には火事や地震の時も安心できるように、すぐに避難できる位置にあって、食料や水なども備蓄されています。
- 家から少し離れば、家族や近所のお友達とお花見ができる広場や、大きなスポーツ大会が開催される公園、歴史文化を学ぶことができる公園、自然学習の場となる公園など、特色ある比較的大きな公園も整っています。
- 水辺の散策路や緑道を利用して、ジョギング、サイクリング、散歩などを手軽に楽しむことができるため、医者にかかる機会が減るなど、健康づくりにも役立っています。
- 市街地の主な街路には、中央分離帯や歩道に計画的に植栽が施され、街中に緑の帯が連なっているような印象を強く受けます。これらの植栽が自動車の騒音や排気ガスの緩衝となっているため、沿道の市民も喜んでいます。



- 北部の山地や市街地に残る雑木林などの緑は、行政の財政的な措置やボランティアなどによる下草刈りによって適切に保全・管理され、水源のかん養や自然災害の防止、都市の気候の緩和に役立っています。
- 住宅地のブロック塀が生垣に替わり、地震の際の倒壊や火災の延焼の心配が少なくなっています。また、これまでの窮屈で殺伐とした風景に、ゆとりやうるおいが感じられるようになっていきます。
- 市役所などの公共施設は積極的に緑化が進められ、地域の拠点にふさわしい魅力が感じられます。

#### ◇『新たな緑の文化をみんなでつむぐまち』が実現された足利市の将来のすがた

- 行政は財政負担が最小で、最大の効果が得られるように市民と協働して公園や緑地の整備を進めています。また、緑を育てるためのボランティアが公園の手入れや道路・学校など公共施設での植樹や花壇づくりに活躍しています。
- 工場や作業所などは建物の周りを緑で被ったり、ビルの壁面や屋上の緑化を進め、緑豊かなまちづくりに協力しています。また、店先などに色鮮やかな花を植えたプランターをおいて、商店街の魅力が高くなったという声が多く聞こえてきます。
- 各家庭の玄関先はいつも花が飾られ、道行く人がほっとするような雰囲気をつくり出しています。
- 生涯学習では緑化や花づくりの技術を習得する教室が開催され、受講希望者が年々増加しています。この講座の修了者は、住まいの周辺の緑化活動のリーダーとして活躍するなど、花や緑づくりの輪がひろがりをみせています。
- 緑化に関わる催しが定期的開催され、ボランティアが育てた苗木が無料で配布されるなど、地域の緑化に貢献しています。また卒業や結婚・出産の際の記念に植樹された苗木の生長とともに、ふるさとへの愛着も深まっていると聞きます。
- 緑の保全を目的とした土地の買い取りや緑化の推進のため、市民や事業者などが少しずつ負担しあって基金を設立しており、開発されようとしていた雑木林を買い取って、緑地として保全しています。